

平成17年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会							
①	指標名	サービス評価事業			目標値	14件	実績値	15件	
	過去の実績 (単位: 件)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	107.1%	達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>	
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①市内及び市外の高齢者施設と保育施設へ評価受審案内書を送付した。 ②評価結果の公表内容を具体的に表現し、分かり易い内容に改めた。 ③評価者の質の向上を図るため、フォローアップ研修を実施した。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○事業者への積極的なPRとサービス評価事業への事業者の理解が高まったことにより、実績が向上した。							
二次評価	●サービス評価事業は15年度から毎年実績を伸ばしてきている。 ●近隣の施設にも案内書を送付しており、実際に市外からの受注があるなど、積極的なPRに努め、17年度は目標を達成した。 ●しかし、先に市で検討を行った「福祉三団体再編検討有識者会議」からの報告書では、「第三者サービス評価事業は、すでに民間事業者が収益事業として実施しており、本来の社協事業に馴染まないものであり、市の補助を継続することは好ましくない。」との指摘がある。当該事業については今後よく検討する必要がある。								
②	指標名	会費収入			目標値	5,060,000円	実績値	4,658,500円	
	過去の実績 (単位: 千円)	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	92.1%	達成状況	未実施・ <b>未達成</b> ・達成	
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①地域社協への会費の一部還元を行い、地域における会員の拡大を促した。 ②既会員への会費納入案内書の送付時に、合わせて会員の勧誘をお願いした。 ③広報紙に毎回会員募集の案内を掲載した。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○個人会員数では前年度より4.5%増えているが、賛助会員が減少したため会費収入が減った。							
二次評価	●会員の獲得については毎年さまざまな工夫をこらし行っているようであるが、なかなか思い通りの成果が出ていない。 ●会員数は16年度末の個人2,626人、団体102団体、賛助113人から17年度末の個人2,743人、団体108団体、賛助108人となり、賛助会員は減っているものの、個人・団体ともに伸ばしている。しかし、会費の納入率が16年度88%から17年度78%に低下したことにより、会費収入が前年度から大幅に減少しており、目標を達成できなかった。 ●会員の高齢化など厳しい事情はあるが、今後とも会員の獲得には最重要課題として取り組んでいく必要がある。								
③	指標名	職員研修・業務の効率化			目標値	研修計画に基づく研修の実施及び業務執行状況報告書の提出		実績値	業務執行状況報告書は年4回提出 職場研修受講者数：10回、42人 職場外研修受講者数：6回、15人
	過去の実績 (単位: )	平成14年度	平成15年度	平成16年度	達成率	—		達成状況	未実施・未達成・ <b>達成</b>
	取組内容	※17年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①職場研修は、原則新人職員を対象に業務に関することを担当職員が行った。 ②職場外研修は、民間研修機関及び東社協が実施する研修に、アルバイトを除く職員が必要とする研修を選択して参加した。 ③業務執行状況報告書は、5、8、11、2月の計4回アルバイトを除く全職員が提出した。							
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○特に新人職員の研修を強化し基礎的な知識の吸収に努めた。また、業務実績を提出することにより、社協が取り組んでいる事業の内容や進捗状況などに関する情報を全員が把握できるようになった。今後研修内容を充実していく。							
二次評価	●職員の研修計画に従い、職場研修や東社協等の研修に職員を参加させている。特に新人職員に対する研修の強化を行っており、人材育成に努めている。 ●また、全職員に業務状況報告書の提出を義務付け、業務の進行管理や効率化にも努めており、当初の目標を達成したと評価する。 ●今後はしっかりと数値目標を設定して、計画的な人材育成や業務の効率化を図っていく必要がある。								